

一般社団法人日本疫学会 第5回定時社員総会 議事録

日時	2021(令和3)年 1月 28日(木) 17:20-18:20
場所	Zoom webinar 於 第31回日本疫学会学術総会
社員総数	200名
出席社員数	174名(内 委任状提出者:67名)
出席理事	(順不同、敬称略) 祖父江友孝(議長)、玉腰暁子、三浦克之、栗山進一、曾根博仁、井上茂、井上真奈美、尾島俊之、若井建志、本庄かおり、安田誠史、金子聰、郡山千早、上原里程、片野田耕太、神田秀幸、関根道和、松尾恵太郎
出席監事	西信雄、横山徹爾

祖父江議長より、代議員 200名のうち、出席代議員 107名、委任状提出代議員 67名で、過半数に達しており本社員総会が成立したことが報告された。また、議事録署名人として、栗山進一先生と関根道和先生が承認された。

1. 2020年度事業について、議長から下記の報告があった。
 - 1) 学術総会の開催に関する事業(定款第2条1項)
 - ・第30回日本疫学会学術総会、第27回JEA疫学セミナー
2020年2月20日～22日 京都(中山健夫会長)
学術総会 1,145名参加、JEA疫学セミナー391名参加
 - 2) 学会誌発行に関する事業(定款第2条2項)
 - ・会誌 Journal of Epidemiology Vol. 29(12), Vol. 30(1)～(11)の刊行
 - ・アクセプト版早期公開の定常化
 - 3) 情報の収集及び提供に関する事業(定款第2条3項)
 - ・ニュースレター 第55号、第56号の刊行
 - ・ホームページ(日・英)およびメールマガジン(疫学会通信等)による情報提供
 - ・メディア連携、疫学リテラシーの普及促進についての検討
 - ・疫学リソース利用促進についての諸課題の検討
 - ・新型コロナウイルス関連情報特設サイトの開設・運営
 - ・厚生労働省等へ提案と要望書の提出
 - 4) 人材の教育、研修に関する事業(定款第2条4項)

- ・プレセミナー2020（3セミナー）の開催（2/20，合計 238 名参加）
 - ・サマーセミナー2020 は中止
- 5) 支援、交流に関する事業（定款第 2 条 5 項）
- ・疫学の未来を語る若手の会（若手の会の川合紗世 世話人代表幹事より報告があった。）
 - 若手の集い、合宿は中止
 - ・第 31 回学術総会トラベルグラントの募集中止
 - ・国際疫学会（IEA）との連携強化、2021 年に延期となった WCE（World Congress of Epidemiology）Travel Award の募集を保留中
 - ・他学協会との共催・連携企画によるシンポジウム等の開催
 - ・関連団体との連携（日本医学会、日本医学会連合、禁煙推進学術ネットワーク、日本人類遺伝学会、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会、社会医学系専門医協会等）
- 6) 資格の認定に関する事業（定款第 2 条 6 項）
- ・疫学専門家認定制度
 - 疫学専門家の申請受付、書類審査、筆記試験実施、合格発表
 - 上級疫学専門家（207 名）・疫学専門家（36 名）の認定（4/1）
 - 経過措置により上級疫学専門家・疫学専門家の同時申請受付
 - ・社会医学系専門医制度との連携
- 7) 表彰に関する事業（定款 2 条 7 項）
- 日本疫学会功労賞受賞者（敬称略）
- 中山 健夫（京都大学大学院医学研究科）
- 日本疫学会奨励賞受賞者（五十音順、敬称略）
- 尾瀬 功（愛知県がんセンター）
- 道川 武紘（東邦大学医学部）
- 優秀査読者賞受賞者（五十音順、敬称略）
- 王 超辰（愛知医科大学）
- 柿崎 真沙子（名古屋市立大学）
- 杉山 裕美（放射線影響研究所）
- Paper of the Year（敬称略）
- EPOCH-JAPAN 研究を代表して
- 寶澤 篤（東北大学メディカルメガバンク機構）
- 8) その他の関連する事業（定款第 2 条 8 項）
- ・多様性（ダイバーシティ）促進のため、会員情報更新の働きかけ、会員情報の分析
- 9) その他
- ・役員などの COI 自己申告書の収集・管理
 - ・各種規程整備

- ・ 名誉会員の推薦
 - ・ 会議等に関する事項
 - 第 4 回定時社員総会@京都大学百周年時計台記念館 (2/21)
 - 第 1 回理事会@京都大学医学部 (2/20)
 - 第 2 回理事会@Zoom 開催 (5/31)
 - 第 3 回理事会@Zoom 開催 (10/22)
2. 2020 年度決算書案について、北村事務局長より、貸借対照表、正味財産増減計算書および附属明細書に基づき、下記の報告があった。
- 2020 年度の資産合計は、62,916,275 円、負債合計は、3,298,144 円である。また、指定正味財産と一般正味財産を合わせた正味財産合計は 59,618,131 円で、負債及び正味財産合計は、62,916,275 円であった。
- 一般正味財産増減の部における経常増減の部について、2020 年度の経常収益は、受取会費 20,585,250 円、事業収益 27,786,524 円、受取補助金等 3,337,368 円等があり、経常収益計 51,711,183 円である。
- 経常費用は、事業費 30,429,182 円、委員会活動 1,712,851 円、学会事務局 9,702,330 円等があり、経常費用計 44,447,757 円で、当期経常増減額は 7,263,426 円であった。経常外増減の部については、一般正味財産期末残高が 57,496,453 円である。
- 指定正味財産増減の部において、日本学術振興会からの受取補助金等 3,800,006 円と一般正味財産への振替額マイナス 3,337,368 円により、指定正味財産期末残高は 2,121,678 円となり、正味財産期末残高は、59,618,131 円で、先ほどの貸借対照表の正味財産合計と一致する。なお、第 30 回学術総会の収益は 16,413,027 円、費用は 16,911,039 円で、準備金 150 万の残金約 100 万円は、国際化基金に組み入れた。
3. 2020 年度事業報告及びその附属明細書、理事の職務の執行、計算書類及びその附属明細書について、西信雄監事より監査報告があり、2020 年度決算書は承認された。
4. 2021 年度事業計画について、議長より下記の報告があった。
- 1) 第 31 回日本疫学会学術総会、第 28 回 JEA 疫学セミナーの開催
 - 2) 会誌 Journal of Epidemiology Vol.30(12), Vol.31(1)-(11)の刊行
 - 3) ニュースレター第 57、58 号の刊行、ホームページ（日・英）、メールマガジン（疫学会通信等）による情報提供、メディア連携・疫学リテラシー普及促進についての検討、疫学リソース利用促進についての諸課題の検討
 - 4) 第 2 回プレセミナー、第 10 回疫学サマーセミナー等の開催

- 5) 疫学の未来を語る若手の会集い等の開催、IEA-WP シンポジウムの開催、国際疫学会総会〈WCE2021〉トラベルアワードの募集・選考、第32回学術総会トラベルグラントの募集・選考、他学会との共催シンポジウム等の開催、関連団体との連携
- 6) 上級疫学専門家・疫学専門家の認定、社会医学系専門医協会の研修
- 7) 功労賞、奨励賞、優秀査読者賞、優秀論文賞の選考
- 8) 多様性（ダイバーシティー）促進についての検討
- 9) 代議員・選出理事・監事・理事長選挙の実施
- 10) 役員などのCOI自己申告書の収集・管理
- 11) 各種規程の整備
- 12) 名誉会員の推薦
- 13) 社員総会・理事会の開催

以上の事業計画については、理事会で承認された。

5. 2021年度予算書について、北村事務局長より下記の報告があった。

事業活動収入については、会費支払い義務のある普通会员2,000人、代議員195人として、会費収入2,034万円が見込まれ、事業収入として上級疫学専門家の申請・登録料として200万円を見込んでいる。日本学術振興会からの補助金等を合わせて、事業活動収入計を50,957,000円として計上した。

事業活動支出については、事業費支出として、会誌発行費451万円、JE編集委員会費1,038万円、総会準備費150万円、疫学の未来を語る若手の会10万円、学術総会1,211万円、セミナー実施費110万円、疫学専門家認定の費用として200万円を計上している。

賛助会費では、日本医学会年会費14万円、禁煙推進学術ネットワーク連絡協議会に10万円、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会に2万円をあわせて26万円計上した。

委員会活動では、2021年9月に開催予定の国際疫学会総会(WCE2021)のトラベルアワード等の国際化推進費として140万円、ニュースレター作成費24万円、奨励賞・功労賞7万円、委員会開催費等30万円をあわせて205万円を計上した。

理事会では、会議費7万円、交通費55万円を計上している。

学会事務局では、法定福利費160万円、人件費808万円、業務委託費63万円、会計監査費40万円をあわせて1071万円計上した。

その他、消費税70万円を含む管理費236万円、選挙費26万円、都民税7万円を計上し、事業活動支出計48,040,000円が見込まれ、事業活動収支差額は2,917,000円となる。

以上の予算書については、理事会で承認された。

6. 新名誉会員について、祖父江議長より、理事会で推薦された新名誉会員候補が紹介され、下記のとおり承認された。

新名誉会員（敬称略）

中川 秀昭（金沢医科大学名誉教授）

深尾 彰（山形大学名誉教授）

7. 役員人事について、祖父江議長より、第33回日本疫学会学術総会会長として、浜松医科大学の尾島俊之先生が推薦され、理事会で承認されたとの報告があった。

9. 庶務事項について、北村事務局長より、下記のとおり報告があった。

- 1) 会員数（2021年1月1日現在）

名誉会員：30名、代議員：200名、普通会員：2,247名（合計：2,477名）

※普通会員のうち、2020年度入会学生会員：98名

※1年間で、会員数47名増加

- 2) 年会費納入状況（2021年1月10日現在）

2020年度会費の納入義務のある会員：2,332名

2020年度までの会費納入完了者：2,034名（87%）

2年以上の滞納者：67名

- 3) 疫学会通信（2021年1月1日現在）

登録者数：2,453名（99%） 2020年発行回数：73回

10. 第32回学術総会会長の近藤克則先生（千葉大学／国立長寿医療研究センター）より、あいさつがあった。

11. 最後に祖父江理事長よりあいさつがあり、閉会となった。

以上